

火気器具の例

気体燃料



コンロ

たこ焼き機

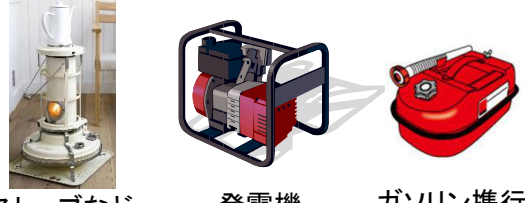
カセットコンロ

その他、

- ・フライヤー
- ・焼き鳥機
- ・おでん
- ・焼き栗機 など

主にLPガスを使用する器具

液体燃料



ストーブなど

発電機

ガソリン携行缶

固体燃料



七輪、BBQコンロ など

電気を熱源とする器具

電気コンロ
ホットプレート など

※3 火気器具等

その使用に際し、火災の発生のおそれのある以下の器具

- ① 液体燃料を使用する器具
- ② 固体燃料を使用する器具
- ③ 気体燃料を使用する器具
- ④ 電気を熱源とする器具

別記2



※5 消火器

- 原則、露店等1店舗につき消火器を1本準備します。
ただし、初期消火を有効に行える場合は、複数の対象火気器具等又は露店等の使用実態に応じて、共同で消火器を準備することも可能です。
- 消火能力単位を持つ業務用ABC消火器（3型もしくは4型以上のもの）を準備してください。
- 複数の火気器具等を使用する場合などは、状況に応じて、消火器を複数準備、又は能力単位の大きい消火器（例：10型ABC消火器など）を準備して下さい。
- 準備する消火器は、消防法第17条の3の3に規定する点検の義務はありませんが、腐食又は変形、破損などがある場合は適切な消火器を準備して下さい。